大森第四小

令和８年度
１１月号　学校だより　No.７
令和８年１０月３０日発行
大田区立大森第四小学校
校長　後藤　眞里
大森南三丁目１８番２６号
Tel 03（3741）4265
http://oomoridai4-es.ota-school.ed.jp/

言葉を育む

校長　後藤　眞里

季節外れの台風を心配していましたが、気が付けば木枯らしが吹き、季節が変わりゆく速さに驚いています。こどもたちに、ポケットに手を入れて歩かないよう注意することも増えてきました。

さて、２学期初めの保護者会でもお話ししましたが、今、こどもたちの、言葉等での「表出」の力に注目しています。どんなことでその力を伸ばすことができるのか、教員も試行錯誤しているところです。それは、単に毎日の授業や、テストや成績に関わる話ではなく、自分が思っていることや、こうしたいという希望、伝えなくてはいけないことを、ちょうどよい言葉を使って、間違いのないように表現する力のことです。中には、これからの時代は、自分で言葉を使って考えなくても人工知能が全部考えて表現してくれるとお考えの方もいるかもしれません。しかし、そうではないのです。自分が本当に伝えたいことを人工知能に表現させようとすると、より多くの言葉や表現方法で、正確な指示（プロンプト）を出さなくてはなりません。つまり、これからの社会では、これまで以上に、言葉をうまく使っていく力が必要になるということです。

こどもたちは、自分の気持ちをうまく伝えることができているでしょうか。正しく書くことができているでしょうか。お子さんが初めて言葉を発したときのことを思い出してみてください。おそらくたくさんの言葉を話しかけ、一緒に指を差して見ながらものの名前を伝え、上手に言えたことを一緒に喜んだのではないかと思います。こどもたちは自分から学ぶ力をもっていますが、そのエネルギーを生み出すのは周りの人たちからの前向きな働きかけや評価です。ぜひ、ご家庭でもお子さんの話を聞き、感想を伝え合い、「いいね」と認めていただきたいと思います。

１１月の生活目標
「誰にでも親切にしよう」

生活指導部

学校で生活していると、クラスの友達、学年の仲間、他の学年や教職員など様々な人と関わる機会があります。
「誰にでも親切にしよう」「困っている友達がいたら声を掛けよう、分け隔てなく接しよう」、こういう気持ちで生活する人が多くなると、学校は明るく楽しい雰囲気になります。相手のことを考えられる優しい心が育つように、引き続き声を掛けていきたいと思います。

保健目標
「かぜの予防をしよう」

これからの時期は空気が乾燥するため、感染症が流行しやすい季節です。手洗い・うがい、規則正しい生活習慣を心掛け、体の調子を整えましょう。必要に応じてマスク着用の御協力もお願いいたします。

給食目標
「感謝して食べよう」

11 月 23 日は勤労感謝の日です。農家の方、漁師さん、いつもおいしい食事を作ってくれる家族や給食調理員さんに感謝して食べましょう。

展覧会

展覧会委員会

11 月の展覧会に向けて、こどもたちは作品作りを進めています。授業では、いままで学んできたことや、新しい道具や技法を活用しながら、自分の作品に向き合う姿が見られました。展覧会では、全校児童の図工作品と、高学年の家庭科作品が体育館に展示されます。一人一人の思いが込められたこどもたちの作品を、是非御鑑賞ください。

【児童鑑賞日】　11 月 20 日（金）授業の時間
【保護者鑑賞日】　11 月 20 日（金）午後３時 20 分から午後４時 30 分まで
11 月 21 日（土）午前９時から午後４時まで

おおたの未来づくり科

５・６年担任

昨年度から第５・６学年の児童を対象に、大田区の全ての小学校で教科「おおたの未来づくり」が始まりました。教科「おおたの未来づくり」では、「ものづくり」や「地域の創生」にチャレンジすることを通して、こどもたちが地域社会の一員として社会に主体的に働きかけ、発信する力をつけていくことを目標としています。

本校では、６年生は「地域の創生」をテーマに学習を進めていきます。大森東特別出張所を授業パートナーとして迎え、大森東・大森南地区をよりよくするために何ができるかを地域と共に考え、学習のゴールとしては試行錯誤しながら地域の方々に提案することを目標としています。

５年生は「ものづくり」をテーマに学習を進めていきます。授業パートナーの大橋製作所さんから、より魅力的な製品にするためのアイデアを考える依頼をいただきました。児童たちは、より魅力的な製品にするための工夫を話し合っています。こどもたちが自分たちの思いをもち、表現できるように支援していきます。

大四の窓　「本当の宝物は仲間」

６年担任

６年生は 10 月 26 日（月）から 10 月 28 日（水）まで、とうぶ移動教室に行ってきました。普段の学校生活とは異なる環境の中で、こどもたちは自分で考えて行動することや、仲間と協力することの大切さを学びました。

池の平湿原でのハイキングでは、班ごとにチェックポイントを巡り、ミッションに挑戦するワードラリーを行いました。仲間と知恵を出し合いながら課題に取り組む活動を通して、一人では難しいことも、協力することで乗り越えられることを実感する機会となりました。

宿舎では、時間を意識して行動したり、係の仕事に取り組んだりと、一人一人が集団生活を支える役割を担いました。

この３日間の移動教室の経験を一過性のものにせず、残りの小学校生活、そして中学校生活へとつなげられるように、指導していきます。

保護者の皆様、準備から様々ご協力をいただき、ありがとうございました。